

(様式第7)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）（第3回変更）

平成28年3月11日

計画の名称	34 スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出	重点計画の該当	○
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付団体	沼津市
計画の目標	現在沼津市には、新東名高速道路と東名高速道路と合わせて2路線の高速道路があり、ダブルネットワークを形成している。このダブルネットワークの有効活用を図るため、東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアへのスマートインターチェンジを設置する。 これにより、沼津市の重要拠点と位置付けられている沼津駅、原駅、沼津港、片浜工業地域、浮島工業団地、新貨物駅と高速道路とのアクセス性を向上させることで、人・物のさらなる交流を促し、魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまちづくりを図る。 また、防災拠点として高速道路を活用するとともに、静岡県東部地域唯一の第三次救急医療機関である沼津市立病院とのアクセス性を向上させ、安心・安全なまちづくりを図る。		

現在沼津市には、新東名高速道路と東名高速道路と合わせて2路線の高速道路があり、ダブルネットワークを形成している。このダブルネットワークの有効活用を図るため、東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアへのスマートインターチェンジを設置する。
これにより、沼津市の重要拠点と位置付けられている沼津駅、原駅、沼津港、片浜工業地域、浮島工業団地、新貨物駅と高速道路とのアクセス性を向上させることで、人・物のさらなる交流を促し、魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまちづくりを図る。
また、防災拠点として高速道路を活用するとともに、静岡県東部地域唯一の第三次救急医療機関である沼津市立病院とのアクセス性を向上させ、安心・安全なまちづくりを図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 東名高速道愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置 沼津市の各拠点（市内7箇所）と高速道路IC間の移動時間の短縮を図る。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
東名高速道愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアの2箇所へのスマートインターチェンジの設置	0	-	2							
道路整備による沼津市の各拠点（市内7箇所）と高速道路IC間の移動時間 Σ各拠点と高速道路IC間の移動短縮時間（時間）/Σ現況移動時間（時間）=移動時間短縮率（%）	0%	-	35%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,327 百万円	A	2,325 百万円	B	0 百万円	C	2 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.1%

交付対象事業

A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H24	H25	H26	H27	H28		
34-A1	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市道	改築	0.55	(1) 市道0118号線ほか1路線	道路改築 L=1.98km	沼津市						787	
34-A2	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市道	改築	0.55	(2) 市道0275号線ほか6路線	道路改築 L=3.10km	沼津市						1,538	
												合計	2,325					

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
												合計	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
34-C1	利用促進	一般	沼津市	直接	沼津市	利用促進	0.55	ソフト施策事業	パンフレット作成ほか	沼津市						2	
												合計	2				

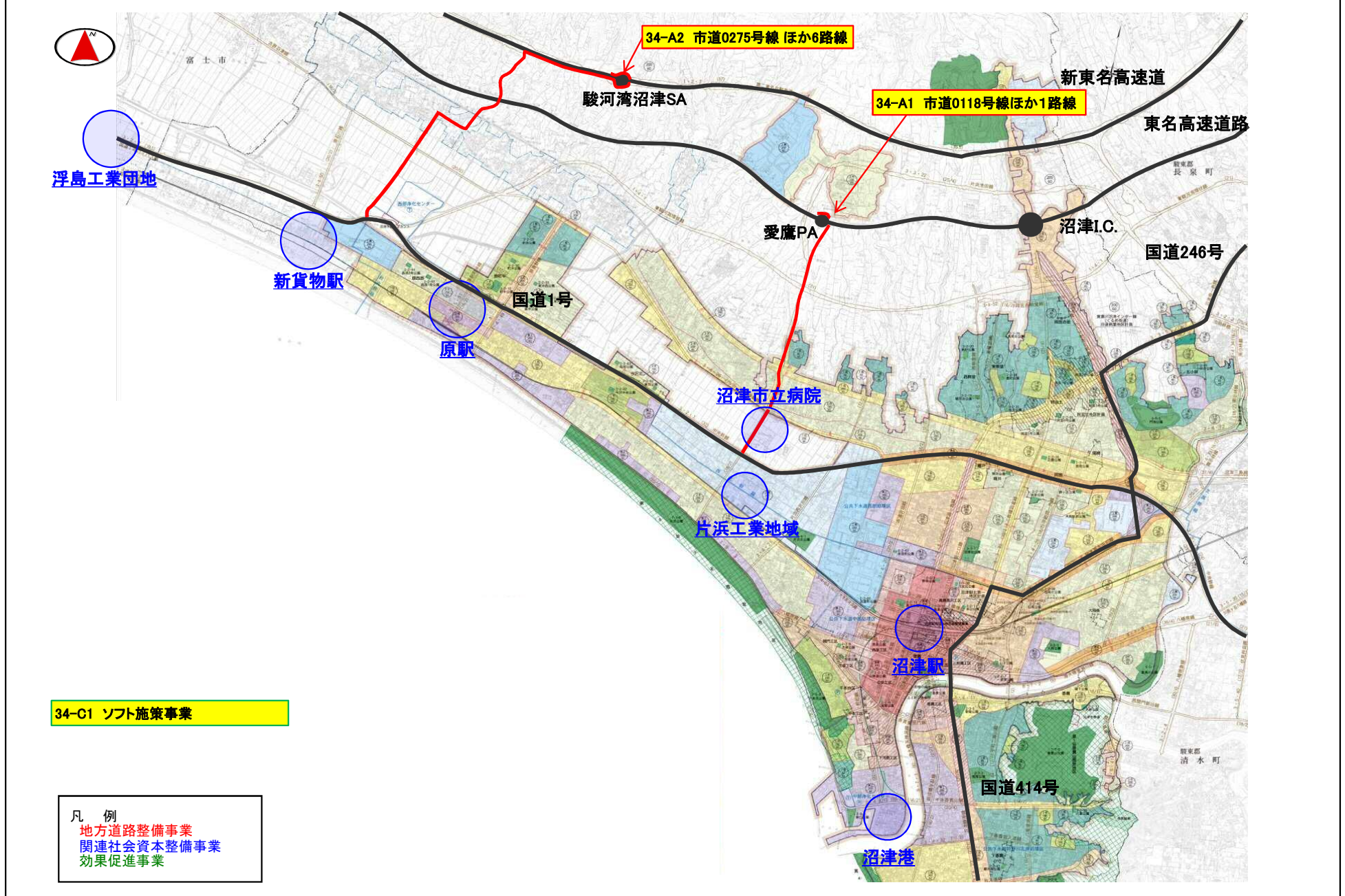
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
34-C1	アクセスルートの延長が長く、市道の付け替えも伴うため、広報資料等を作成し、利用者にスマートインターチェンジへの安全な誘導を図る															

(様式第8)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

参考図面

計画の名称	34 スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出	交付団体	沼津市
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）		



34-C1 ソフト施策事業

凡例
地方道路整備事業
関連社会資本整備事業
効果促進事業

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出 都道府県名:静岡

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○)</small> 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 5 その他(以下の空欄に計画名を記載)	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○